CD－RWドライブ

ユーザーズマニュアル(PDFファイル)



USBで接続する方へ

SCSIで接続する方へ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

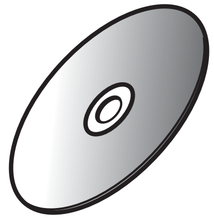
CD－RWドライブ

ユーザーズマニュアル(PDFファイル)



USBで接続する方へ

外付ドライブ



メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

取り付け

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



取り付け

☆セットアップのながれ <Windows>



パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットする

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って
本製品をセットアップ(取り付け・USBドライバのインストール)する

▼

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

注意・メモ

注意

- 別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。
- 本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ(保存)してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

注意

本製品にユーティリティCDをセットしてドライバをインストールすることはできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。CD・DVDドライブを搭載していないパソコンをお使いのときは、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)より、本製品のドライバディスクをダウンロードしてください。

←前のページへ　次のページへ→

☆セットアップのながれ

<Macintosh> ※Macintosh対応製品の場合

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットする

▼

付属のユーティリティCDでMacCDRとUSBドライバをインストールする

▼

USBケーブルで本製品をパソコンに接続する

注意・メモ

注意

・MacCDR以外のライティングソフトウェアをインストールしている方へ

MacCDRをインストールする前に、ライティングソフトウェアのCD-ROM用ドライバを必ず無効にしてください。有効のままMacCDRをインストールすると、ドライバが競合し、正常にパソコンが再起動しないことがあります。ドライバの有効／無効は、[アップルメニュー] – [コントロールパネル] – [機能拡張マネージャ] で設定できます。

注意

本製品にユーティリティCDをセットしてドライバをインストールすることはできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。

☆取り付けの前に

本製品をパソコンに取り付ける前に、次の事項にご注意ください。

●本製品を取り付ける前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディアにバックアップ(保存)し、すべてのアプリケーションを終了してください。

●パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないときは、弊社製USBインターフェースを別途ご用意ください。

●本製品は、パソコン本体(またはUSBハブ)のUSBコネクタか、SCSIコネクタに接続してください。両方のコネクタに同時に接続して使用することはできません。

●1台のパソコンに、USB/IEEE1394接続のCD・DVDドライブ(本製品を含む)を2台以上接続して使用することはできません。

●本製品は、パソコン本体の省電力機能(サスペンド機能、スリープ機能など)には対応していません。
パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

●パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

●パソコンおよび本製品は精密機器です。別紙「はじめにお読みください」に記載されている「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

●本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。書き込み中にケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。
パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

●Macintoshに本製品を接続する場合は、事前に付属のユーティリティCDで次のソフトを必ずインストールしておいてください。
ださい。
・MacCDR
・USBドライバ（USBで接続するときのみ）
インストールされていないと、本製品を使用できません。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●WindowsXP/2000をお使いの場合、本製品にCDが挿入された状態で、USBケーブルの抜き差しを行うと、本製品が正常に認識されないことがあります。

本製品からCDを取り出した状態でUSBケーブルをパソコンに接続してください。

●Mac OS8.6を搭載したMacintoshをお使いの方へ
本製品をUSBハブに接続した場合、OSの起動/再起動時に本製品が認識されないことがあります。

そのようなときは、パソコンのUSBコネクタに本製品を接続してください。

●Macintoshをお使いの場合、本製品を接続した状態でOSを起動すると、本製品が正常に認識されないことがあります。

そのようなときは、本製品を再度接続してください。
インストールされていないと、本製品を使用できません。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

取り付け方法

●Windowsでのセットアップ
付属のユーティリティCDに収録されている「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップ（取り付け・ドライバのインストール）をします。

セットアップが完了すると、本製品のデバイスが、デバイスマネージャに登録されます（デバイス名は製品によって異なります）。

●Macintoshでのセットアップ
本製品をパソコンに取り付ける前に付属のユーティリティCDでMacCDRとUSBドライバをインストールしてください（インストールしないと本製品を使用できません）。

取り付けについては、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

注意・メモ

メモ

別紙 「はじめにお読みください」 を参照してセットアップしてください。

メモ

・登録されるデバイス名については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。
・デバイスマネージャの表示のさせ方についてはWindowsのヘルプを参照してください。

注意

・必ず付属のケーブルで接続してください。付属品以外のケーブルでの使用は、弊社では保証しておりません。
・MacCDRが起動しているときは、ケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しなくなることがあります。
・MacCDRは、本製品をパソコンに接続してから15秒以上経ってから起動してください。本製品を接続する前にMacCDRを起動すると、本製品が認識されなくなります。その場合はパソコンを再起動してください。

←前のページへ　次のページへ→

ソフトウェアのインストール

取り付け

ソフトウェアのインストール

☆ ライティングソフトウェアのインストール

ＣＤ書き込み

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



ソフトウェアのインストール



☆ライティングソフトウェアのインストール
< Windows >

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境

CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium166MHz以上(PentiumⅡ233MHz以上推奨)
メモリ	128MB以上(WindowsXP) 96MB以上(Windows2000) 64MB以上(WindowsMe/98SE/98)
ＯＳ	WindowsXP/Me/2000/98SE/98
グラフィック	解像度800×600ドット以上、 High Color(16ビット)色以上
ハードディスク容量	インストール時に20MB、 書き込みの一時的な作業領域として 約50～800MB必要

注意・メモ

←前のページへ　次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。
「簡単セットアップ」が起動します。

2 [WinCDR Liteのインストール](または、[PacketManのインストール]、[WinCDRのインストール])を選択し、[開始]をクリックします。
※製品によって付属するソフトウェアは異なります。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

注意・メモ

メモ

- 「簡単セットアップ」が起動しないときは、ユーティリティＣＤ内の アイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。
- WinCDR Lite、WinCDR、PacketManの違いは、「ライティングソフトウェアの特徴」をお読みください。

注意

PacketMan で書き込んだメディアを、PacketMan をインストールしていないパソコンで読み出すには、ドライバをインストールする必要があります。
付属のユーティリティ CD をセットし、簡単セットアップから[PacketMan　Reader のインストール]を選択し、[開始]をクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

☆ライティングソフトウェアのインストール
< Macintosh >

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

アプリケーションRAM	16MB
メモリ	32MB以上(64MB以上推奨)
ＯＳ	MacOS 8.6〜9.2.2
ハードディスク容量	MacCDRのインストールに約5MB 書き込みの一時的な作業領域として 約50〜800MB必要

●インストール手順
付属のユーティリティCDでMacCDRとUSBドライバをインストールします。
インストール手順については、別紙「MacCDRクイックスタートガイド」を参照してください。

注意・メモ

注意
本製品をパソコンへ取り付ける前に必ずインストールしてください。インストールしないと、本製品にセットしたメディアがマウントされません。

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



ＣＤ書き込み

☆書き込み

メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」を参照してください。



著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

←前のページへ 次のページへ→

☆ライティングソフトウェアの特徴

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●WinCDR(Windows用)
音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます（ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます）。

●WinCDR Lite(Windows用)
オリジナルの音楽CDやデータCDの作成、CDのバックアップが簡単にできるWinCDRの簡易版です（詳細設定はできません）。

- 音楽CDの作成・CDのバックアップはディスクアットワンス方式、データCDの作成はトラックアットワンス方式で書き込まれます。
- WinCDR Liteで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます（ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます）。

注意・メモ

メモ

- ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。

メモ

- ディスクアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています（自動的に設定されます。個別設定はできません）。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。

←前のページへ 次のページへ→

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●PacketMan(Windows用)
CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。

●MacCDR(MacOS用)

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。
- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

注意・メモ

メモ
- パケットライト方式の書き込みに対応しています。
- CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

注意
100MBを超える大容量のファイルを書き込むときはWinCDRまたはWinCDR Liteを使用してください。

メモ
ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。

注意
Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

←前のページへ 次のページへ→

☆書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●パケットライト方式
- パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込みができる。
- パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

注意・メモ

メモ

- 2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください（WinCDR、MacCDR）。
- 1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

☆ CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをする場合、HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをする場合、UltraSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

注意・メモ

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

- ☆使用時の注意
- ☆メディアの取り扱いに関する注意
- ☆メディアのセット／取り出し
- ☆本製品の取り外し

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



取り扱いかた

☆使用時の注意



●USBケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

●メディアへの書き込み中や再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

●本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

●本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONの時でも、取り扱いかた-⑤「本製品の取り外し」に記載の手順でUSBケーブルを抜き差しできます。

●本製品の上に物を置かないでください。

注意・メモ

注意

本製品へのアクセス中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。 データが破損するおそれがあります。

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >

①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [CDオーディオ]タブをクリックします。
④ [再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤ [OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8の設定手順 >

①Windows Media Player 8を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

- WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。
- Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

☆メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し(書き込み)できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

☆メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする

イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す

< Windows >

イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

< Macintosh >

デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、トレーを軽く押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

注意・メモ

注意

- 本製品を縦置き(垂直)にして取りつけた場合は、トレーのツメにメディアをかけてセットしてください。
- 縦置き(垂直)にした場合、8cmサイズのCDは使用できません。
- アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。
- PacketManでフォーマットしたメディアを取り出すときは、画面上でCD(CD-ROMドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある[イジェクト]アイコンをクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

☆本製品の取り外し

パソコンの電源スイッチがONのときに本製品を取り外すときは、必ず次の手順で行ってください。

●Windows

1 本製品からメディアを取り出します。

2 タスクバー(タスクトレイ)に表示されているアイコンまたはをクリックします。
※一部の製品ではクリックではなく、右クリックの場合があります。

3 取り外し(または停止)のメニュー項目をクリックします。

4 本製品を安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、本製品を取り外します。

●Macintosh

取り外し時に特別な操作は必要ありません。
※MacCDRが起動しているときは、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。USBケーブルを取り外す前に、必ずMacCDRを終了させてください。
※CDをマウントしているときは、CDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップし、CDを本製品から取り出してからUSBケーブルを取り外してください。

注意・メモ

メモ

パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

メモ

取り外し(または停止)のメニューに表示されるデバイス名は製品によって異なります。デバイス名については、別紙「はじめにお読みください」 を参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

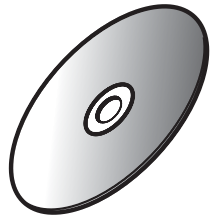
ＣＤ－RWドライブ

ユーザーズマニュアル(PDFファイル)



SCSIで接続する方へ

外付ドライブ



メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

取り付け

取り付け

☆セットアップのながれ

☆取り付けの前に

☆接続時の注意

ソフトウェアのインストール

ＣＤ書き込み

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



取り付け

☆セットアップのながれ

<Windows>



パソコンの電源スイッチをOFFにする

▼

本製品のSCSI-IDを設定し、ターミネータを取り付ける

▼

SCSIケーブルで本製品を接続する

▼

周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

注意・メモ

注意

- 別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。
- SCSIインターフェースを搭載していないパソコンをお使いの場合は、事前にインターフェースを取り付けておいてください。取り付け方はパソコン本体、およびSCSIインターフェースのマニュアルを参照してください。
- 本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ(保存)してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

☆セットアップのながれ

<Macintosh> ※Macintosh 対応製品の場合

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

▼

パソコンの電源スイッチをOFFにする

▼

本製品のSCSI-IDを設定し、ターミネータを取り付ける

▼

SCSIケーブルで本製品を接続する

▼

周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにする

注意・メモ

注意

・MacCDR以外のライティングソフトウェアをインストールしている方へ

MacCDRをインストールする前に、ライティングソフトウェアのCD-ROM用ドライバを必ず無効にしてください。有効のままMacCDRをインストールすると、ドライバが競合し、正常にパソコンが再起動しないことがあります。ドライバの有効／無効は、[アップルメニュー] — [コントロールパネル] — [機能拡張マネージャ] で設定できます。

←前のページへ 次のページへ→

☆取り付けの前に

本製品をパソコンに取り付ける前に、次の事項にご注意ください。

●パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

●パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

●本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。
パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

●パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

●本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
・パソコン本体のマニュアル
・本製品および付属品

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●Ultra SCSIインターフェースをお使いの方へ
複数のSCSI機器を接続してシステムの動作が不安定になる場合、次の方法で回避できることがあります。
•Ultra SCSI対応機器（ハードディスクなど）をデイジーチェーンの終端、またはその近くに接続する
•できるだけ短いSCSIケーブルでSCSI機器を接続する
•接続しているSCSI機器の電源スイッチをすべてONにする

以上の作業を行っても回避できないときは、接続するSCSI機器の台数を減らしてください。

●パソコンの電源スイッチがONのときは、SCSIケーブルに触れないでください。ONのときにケーブルを抜き差しすると、故障する恐れがあります。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。
パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

注意・メモ

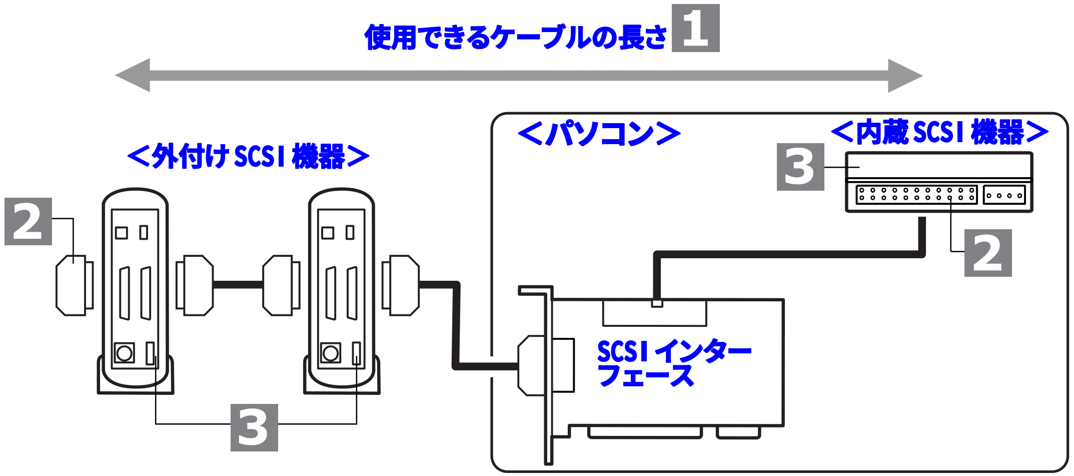
注意

Ultra SCSI インターフェースは、データをやり取りするタイミングが厳密なため、複数の SCSI 機器を接続した場合に動作が不安定になることがあります。

←前のページへ 次のページへ→

☆接続時の注意

本製品やSCSI機器を接続する時の注意事項を、次の図の 1 ～ 3 で説明しています。必ずお読みください。



1 SCSI ケーブルとコネクタ

●SCSIケーブルは一般的なSCSI-2の標準に適合した物を使用してください。

●SCSIケーブルを接続する前に、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

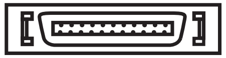
注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

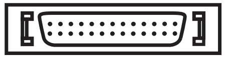
●SCSIケーブルとSCSI機器のコネクタ形状が合っているか確認してください。

付属のSCSIケーブルのコネクタは、両端ともD-subハーフピッチ50ピンです。パソコンやSCSIインターフェースボードによっては、別売の弊社製接続キットと組み合わせて接続する必要があります。

アンフェノールハーフピッチ 50 ピン



D-sub ハーフピッチ 50 ピン



●SCSIインターフェースの種類やUltra SCSI対応のSCSI機器を接続するかどうかによって、接続できるSCSI機器の台数と使用できるケーブルの長さに次のような制限があります。

SCSI機器の種類	SCSIインターフェースの種類	接続台数	ケーブルの長さの合計(*1)
Ultra SCSI対応のSCSI機器を含む	Ultra SCSI(*2)	1〜3台	3m以下
		4〜7台	1.5m以下
SCSI-2対応のSCSI機器だけ	Ultra SCSI、SCSI-2	7台まで	6m以下

●接続に使用するSCSIケーブルの特性インピーダンス値を統一してください。特性インピーダンス値は、SCSIケーブルのパッケージやケーブル自体に印刷されています。弊社製SCSIケーブルの場合は、約90Ωに統一されています。

注意・メモ

注意

- 「ケーブルの長さの合計」には、SCSI機器の内部に配線されている部分（10〜20cm程度）も含まれます。
- Ultra SCSI対応のSCSI機器を使用するときは、SCSI機器の台数が多くなるほどSCSIケーブルの長さの合計を短くする必要があります。

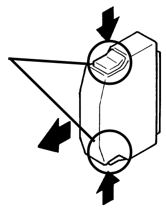
←前のページへ 次のページへ→

2 ターミネータ（終端抵抗）

●デイジーチェーン（複数のSCSI機器をケーブルで直列につないだ状態）の終端に接続するSCSI機器には、必ずターミネータを取り付けてください。ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器を終端に接続した場合は、ターミネータ機能を有効にしてください。

本製品のターミネータの設定は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

●SCSIケーブルやターミネータを取り外すときは、クランパ（2箇所）を押さえながら引き抜いてください。



3 SCSI-ID

●同じSCSI-IDを複数のSCSI機器に割り当てないでください。ただし、複数のSCSIインターフェースを併用しているときは、異なるSCSIバス間で同じSCSI-IDがあっても構いません。

本製品のSCSI-IDの設定方法は別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

注意・メモ

メモ

内蔵SCSI機器の場合も、SCSIケーブルの終端（1台目用のコネクタ）に接続するSCSI機器は必ずターミネータ機能を有効にしてください。

メモ

SCSIケーブルやターミネータを取り付けるときは、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール



☆ライティングソフトウェアのインストール
< Windows >

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境

CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium166MHz以上(PentiumⅡ233MHz以上推奨)
メモリ	128MB以上(WindowsXP) 96MB以上(Windows2000) 64MB以上(WindowsMe/98SE)
ＯＳ	WindowsXP/Me/2000/98SE
グラフィック	解像度800×600ドット以上、 High Color(16ビット)色以上
ハードディスク容量	インストール時に20MB、 書き込みの一時的な作業領域として 約50～800MB必要

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。
「簡単セットアップ」が起動します。

2 [WinCDR Liteのインストール](または、[PacketManのインストール]、[WinCDRのインストール])を選択し、[開始]をクリックします。
※製品によって付属するソフトウェアは異なります。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

注意・メモ

メモ

- 「簡単セットアップ」が起動しないときは、ユーティリティＣＤ内の アイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。
- WinCDR Lite、WinCDR、PacketManの違いは、「ライティングソフトウェアの特徴」をお読みください。

注意

PacketMan で書き込んだメディアを、PacketMan をインストールしていないパソコンで読み出すには、ドライバをインストールする必要があります。
付属のユーティリティ CD をセットし、 簡単セットアップから[PacketMan Reader のインストール]を選択し、[開始]をクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

ライティングソフトウェアのインストール
< Macintosh >

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

アプリケーションRAM	16MB
メモリ	32MB以上(64MB以上推奨)
OS	MacOS 8.6〜9.2.2
ハードディスク容量	MacCDRのインストールに約5MB 書き込みの一時的な作業領域として 約50〜800MB必要

●インストール手順
付属のユーティリティCDでMacCDRをインストールします。
インストール手順については、別紙「MacCDRクイックスタートガイド」を参照してください。

注意・メモ

注意
本製品をパソコンへ取り付ける前に必ずインストールしてください。インストールしないと、本製品にセットしたメディアがマウントされません。

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



ＣＤ書き込み



☆書き込み

メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

←前のページへ 次のページへ→

ライティングソフトウェアの特徴

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●WinCDR(Windows用)
音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

●WinCDR Lite(Windows用)
オリジナルの音楽CDやデータCDの作成、CDのバックアップが簡単にできるWinCDRの簡易版です(詳細設定はできません)。

- 音楽CDの作成・CDのバックアップはディスクアットワンス方式、データCDの作成はトラックアットワンス方式で書き込まれます。
- WinCDR Liteで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

注意・メモ

メモ

- ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

メモ

- ディスクアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています(自動的に設定されます。個別設定はできません)。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

←前のページへ 次のページへ→

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●PacketMan(Windows用)

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。

●MacCDR(MacOS用)

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。
- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

注意・メモ

メモ

- パケットライト方式の書き込みに対応しています。
- CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

注意

100MBを超える大容量のファイルを書き込むときはWinCDRまたはWinCDR Liteを使用してください。

メモ

ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。

注意

Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

←前のページへ 次のページへ→

☆書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
•リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
•1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
•CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
•ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
•CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
•CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
•CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●パケットライト方式
•パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込みができる。
•パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

注意・メモ

メモ

•2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください（WinCDR、MacCDR）。
•1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

☆CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをする場合、HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをする場合、UltraSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

注意・メモ

メモ

16倍速以上の速度でCD-RWメディアに書き込むには、ドライブ側も対応している必要があります。

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

- ☆ 使用時の注意
- ☆ メディアの取り扱いに関する注意
- ☆ メディアのセット／取り出し
- ☆ 本製品の取り外し

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



取り扱いかた

☆使用時の注意



●SCSIケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

●メディアへの書き込み中や再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

●本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

●本製品の上に物を置かないでください。

注意・メモ

注意

本製品へのアクセス中は、絶対にSCSIケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

←前のページへ 次のページへ→

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >
①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [CDオーディオ]タブをクリックします。
④ [再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤ [OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8の設定手順 >
①Windows Media Player 8を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

- WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。
- Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

☆メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し（書き込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

☆メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す
< Windows >
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

< Macintosh >
デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、トレーを軽く押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

注意・メモ

注意

- 本製品を縦置き(垂直)にして取りつけた場合は、トレーのツメにメディアをかけてセットしてください。
- 縦置き(垂直)にした場合、8cmサイズのCDは使用できません。
- アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。
- PacketManでフォーマットしたメディアを取り出すときは、画面上でCD(CD-ROMドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある[イジェクト]アイコンをクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

☆本製品の取り外し

本製品を取り外すときは、必ずパソコンおよび本製品の電源スイッチをOFFにしてください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

ご注意

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

■本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの 安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップ作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。

■本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

←前のページへ 次のページへ→

保証書について

本製品には保証書が添付されています。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

ユーザー登録について

弊社ホームページ(https://online.melcoinc.co.jp/user_t/index.html)にて、ユーザー登録できます。

※ユーザー登録時、製品シリアルNo.の入力が必要となります。製品シリアルNo.は、製品本体にシールで貼り付けられていますので、パソコンに取り付ける前にご確認ください。

※ユーザー登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

※ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

※本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

←前のページへ 次のページへ→

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページにてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

①**返送先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
②**平日昼間の連絡先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③**修理対象のメルコ製品名**
④**弊社製品ハードウェア シリアルナンバー**
⑤**弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー**
⑥**具体的な症状/エラーメッセージ**
⑦**発生状況** ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧**発生頻度** ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨**コンピュータ** ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩**ハードディスク** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪**ディスプレイ** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫**その他周辺機器** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬**OS(オペレーティング・システム)** ［ソフト名/メーカ名/バージョン］

製品送付先　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号　052-619-1289

※ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンターへお願いします。
※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

CD-RWドライブユーザーズマニュアル
2002年9月2日 初版発行
発行　株式会社メルコ
PY00-28104-DM10-01 1-01

←前のページへ